

母里地区のイチオシ!

# まちの タカラ

## 「町内散歩」で学ぶ歴史 ～藩時代の面影残す母里～



▲28年間で318回あった連載をまとめた町内散歩。稲田さんのおすすめは204ページにあります。  
◀下町通りを案内する稲田さん。左の建物は後藤邸(旧宮田邸)で、第10回しまね景観賞の個人住宅部門優秀賞を受賞しています。

伯太町周辺を治めていた母里藩。城はありませんでしたが、藩の家老などが政を行なう藩館が西母里にありました。いまでもその周辺は昔ながらの家々が並び、丁字や鍵型に曲がった城下町で特徴的な道路があります。

母里を始めとする旧伯太町全般の歴史や民俗資料などを学ぶのに役立つのが「町内散歩」。平成28年度に市の「がんばる地域おこし支援事業」を活用してきた書籍です。平成27年度から掲げる母里地区での地域ビジョンの達成に向け、文化や歴史、伝統を学び継承していく必要があるという考えから注目されたのが、旧伯太町の広報誌に連載されていた町内散歩。そこには、当時の住民からしか聞けない話などが書かれており、他の書籍にない内容も収録された貴重な資料です。再編集にあたり、町内散歩編集委員会で、広報誌から町内散歩部分のみを抜き出して注釈をつけ、目次に登場する場所や人などを書き添え、分かりやすくまとめました。できた冊子は周辺の図書館や小学校に寄贈されたほか、町内の希望者に頒布されました。

町内散歩編集の中心となったのが、母里交流センター元館長の稲田郷さん。おすすめは「万石城下町の今昔」で、稲田さんは「母里藩の成り立ちや町の変遷が書かれており、観光ボランティアで町内を案内するときの解説に活用している」と話しました。

## 編集後記

▼社日交流センターの子どもお楽しみ会ですが、実は社日山散策だけでなくパフェ作りまで参加していました。自由な順序でトッピングを入れることができ、同じ材料でも各々の個性が光る一品が完成。カステラを小さく分け下に敷くという技術を披露した子もおり、柔軟な思考力を学んだ時間になりました(岩)

▼「総合的な探究の時間」で行われた安来高校のトーク・フォーーク・ダンス。地域の大人に自分の挑戦したいことや、興味を持っていることをしっかりと伝えていました。それを引き出したのも身近にいる頼れる地域の皆さん。生徒たちが話しやすいように、傾聴し笑顔あふれる雰囲気をつくっていました(三)

安来市の人口と世帯数 R4.6.30現在

人口合計 / 36,703人  
(男:17,646人 女:19,057人)  
世帯数 / 14,297世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。  
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。